

Unit21 Weak forms of function words (機能語の強勢のない弱形)

* **function words**…機能語。実質的な意味内容に乏しい語。助動詞、冠詞、代名詞、前置詞など。⇔内容語 (広辞苑第5版 岩波書店)

* **prominence**…文中のある単語を強調するために特に強く発音すること。(Unit10 より)

●21-A いくつかの単語は普通、会話の中では **prominence** が用いられず強く発音しない。

●21-B 21-A に挙げられている **function words** は **weak forms** と **strong forms** を持つ。

特に **strong forms** を持つ時は **function words** が

- ・ **prominence** である時
- ・ その単語自身を発音する時
- ・ それが文の最後にある時 である。

●21-C 速い会話の中では、**weak forms** は聞き取りにくい。また、連続する **function words** は度々速く話されるため特に聞き取りにくい。

●まとめ **function words** (機能語) は普通 **weak forms** で発音され、いくつかの場合にそれは **strong forms** で発音される。

★Exercises21-3 の4問に挑戦してみよう。

Unit22 Prominent function words

(文中のある単語を強調するために特に強く発音する機能語)

* Unit21-A で述べたように普通 **function words** には **prominent** が用いられないが、ここではその例外で **prominent** が用いられる場合を挙げている。

●22-A 普通、対照・対比が表現されたり、暗に意味されたりする場合。

●22-B 稀に、**that** や **this** の熟語が文の最後にある場合。This is it, That is it など。

●22-C ①**some** について・「人々」の意味になる場合

- ・「(数量的に) 多い」と意味する場合
- ・「特定の人・物」を正確にせずに意味する場合

②**any** について・肯定文で「どれでも、どんな物・人」と意味する場合

- ・否定形の動詞のあとに強調するために用いられる場合

また、**somebody, anybody** などが文の主語として用いられる場合。

●22-D **the** について「最も良い」、「最も重要な」などの意味で強調する場合。

●22-E **be, have, do,** や助動詞 (**can, should** など) について

- ・それらが否定の形の場合
- ・特別に強調する場合
- ・それらを用いて反論や反対する場合
- ・時制の対比を示す場合

また、**do, does, did** は動詞を強調する時に用いられる場合 **prominent** が用いられる。

●22-D 新出の情報や質問の一部が **function words** だけで示される場合でそれが文の最後であるなら、**prominent** が用いられる。